

藤井聡太と「鬼の棲家」

橋口 邦紘

世界的にコロナウイルスの蔓延で日々の暮らしがま
まならない。

週末の競馬もとうとう無観客となったがテレビ放映
は健在で有り難い。

この遣り切れない毎日を払拭してくれたのが、藤井聡
太、二冠の大活躍である。余りにも早い出世で自分の頭
が追いつかないので暇に任せて整理してみた。

「詰将棋回答選手権」

12歳で最年少優勝し、将棋界界限で注目されるきっか
けとなった。超難解の問題で、これを時間内でどれだけ
速く正確に解くかというもので詰将棋が得意なプロ棋士
でさえ優勝は難しい。当時奨励会二段でまだプロになっ
ていなかったにも関わらず、並み居る棋士を差し置いて優
勝し将棋界に波紋を起こした。以後も5連覇する。

「中学生最年少プロ誕生 五人の中学生棋士とは」

1954年	加藤一二三	九段 (14歳7ヶ月)
1976年	谷川 浩司	九段 (14歳9ヶ月)
1985年	羽生 善治	九段 (15歳2ヶ月)
2000年	渡辺 明	三冠 (15歳11ヶ月)
2016年	藤井 聡太	二冠 (14歳2ヶ月)

「プロ最年少勝利記録」

竜王戦予選で対戦相手は加藤一二三 九段(76歳)。現
役最年長に勝利した。

「藤井聡太四段、炎の七番勝負」

新四段は予選の1回戦から始まりなかなかトップ棋士
と対戦できないが、余りにも注目されてきたので、本当
にどれくらいの実力があるのか対戦させてみよう企画
がなされた。そのトップ棋士とは、増田康弘四段、永瀬
拓矢六段、斎藤慎太郎六段、中村太一六段、深浦康市九
段、佐藤康光九段、羽生善治三冠(段と称号は当時のもの)
1勝出来るか3勝出来れば大健闘と報じられたが結果6
勝1敗の成績(1敗は永瀬六段、中でも羽生三冠に勝利し
た時は各スポーツ紙の一面を飾り大ニュースとなった。

「29連勝」

30年間破られる事の無かった連勝記録を塗り替えた。

「歴代の連勝記録」

1位	藤井 聡太	四段 29連勝
2位	神谷 広志	八段 28連勝
3位	丸山 忠久	九段 22連勝
4位	塚田 泰明	九段 22連勝
4位	羽生 善治	二冠 22連勝
4位	永瀬 拓矢	八段 22連勝

(出来れば28連勝で終わって欲しかった、これで俺の
名は消えたと神谷八段はインタビューで苦笑い)

「五段昇段」 2018年2月1日

第76期順位戦C級2組で優勝、順位戦C級1組への
昇級を満たし、五段昇段。

「六段昇段」 2018年2月17日

第11回朝日杯将棋オープン戦で優勝。「五段昇段後
全棋士参加棋戦優勝」を達し五段昇段後、最短記録とな
る16日で六段に昇段。準決勝で羽生善治当時竜王、決
勝広瀬章人八段を破り初参加初優勝し翌年も優勝。

「七段昇段」 2018年5月18日

第31期竜王ランキング戦5組で優勝七段への昇段条
件「六段昇段後、竜王ランキング戦で2期連続の昇級」
を満たし最速記録で、七段に昇段。(2018年は1年で3
回の昇段を果たした。通常、昇段するたびに「昇段祝い」
が開かれるが余りのスピードに開催出来なく、五段、六
段は飛び越して「七段昇段祝い」となったようだ。)

「八段昇段」

竜王位1期獲得、順位戦A級昇格他種々あるが二冠獲
得したため条件を満たす。

2020年7月16日、渡辺 明三冠を5番勝負3勝1敗
で「棋聖」を獲得。

2020年8月19~20日、木村一基王位を7番勝負4
連勝で「王位」を獲得。

どちらも最年少戴冠記録である。二冠獲得により八段
昇段となった。

「4年連続勝率8割越えの新記録」

2017年	61勝12敗	0.836
2018年	45勝08敗	0.849
2019年	47勝08敗	0.855
2019年	53勝12敗	0.815
2020年	44勝08敗	0.846

「歴代勝率上位者」

1967年	中原 誠	47勝8敗	0.855
1995年	羽生 善治	46勝9敗	0.836

「順位戦、持ち時間6時間、1年間の戦い」

名人 1人

A級 10人 (総当たり戦、優勝者のみが名人に挑
戦、2名降格)

B級1組 13人 (総当たり戦、年2名A級へ昇級)
(鬼の棲家)

B級2組 25人 (抽選戦、上位3名がB級1組へ、
3名降級)

C級1組 37人 (抽選戦、上位3名がB級2組へ、
3名降級)

C級2組 52人(抽選戦、上位3名がC級1組へ、
四段プロ棋士)

(藤井聡太二冠は、順位戦B級2組を10戦全勝1位で
B級1組へ昇級。藤井聡太二冠のB1所属棋士との公式
対戦成績は27勝9敗、勝率0.750。対名人、A級棋士の
成績は32勝15敗勝率0.681と強者揃いである。)

これまで1期でA級へ駆け上がった棋士は中原誠16
世名人、谷川浩司17世名人、森内俊之18世名人、羽生
善治19世名人の4人のみ。是非藤井聡太二冠も1期で
駆け上がって欲しい。2021年度の活躍が楽しみであり、
王位、棋聖のタイトルの防衛を強く望む。頑張れ藤井君
貴方の活躍こそが毎日の憂鬱を吹き飛ばす。

「鬼の棲家」怖くない。君こそが若鬼なのだ。1期で駆け
上がれ。貴方には皆が恐れる「神の一手」があるじゃ
ないか。

「2020年度将棋界人大タイトル保持者」

渡辺 明 名人、棋王、王将
豊島 将之 竜王、叡王
藤井 聡太 王位、棋聖
永瀬 拓矢 王将

(この四人で独占しており、四天王と呼ばれている、中
でも一番伝統と格式の高いのが、「名人位」、高額優勝
賞金は「竜王位」の4200万円)

「2020年将棋大賞」男女合計18部門(将棋関係記者に よる選考)

最多対局賞	最多勝利賞
1位 永瀬 拓矢 69局	1位 藤井 聡太 44勝
2位 豊島 将之 54局	永瀬 拓矢 44勝
3位 藤井 聡太 52局	3位 佐々木大地 37勝
佐々木大地 52局	
勝率1位	最大連勝
1位 藤井 聡太 0.846	1位 澤田 員吾 14連勝
2位 出口 岩武 0.750	(藤井聡太17連勝中)
澤田 員吾 0.750	
最優秀棋士賞	優秀棋士賞
藤井 聡太	渡辺 明
升田幸三特別賞(独創性)	
藤井 聡太 渡辺 明	棋聖戦第2局 3-銀
名局賞	
藤井 聡太 渡辺 明	棋聖戦第1局
名局賞特別賞	
藤井 聡太 松尾 歩	竜王2組ランキング戦 準決勝戦
東京将棋記者賞	
杉本 昌隆	

「将棋界の序列」

序列1位竜王位、名人位それぞれの冠数

「タイトルホルダー」

永世称号(資格)保有者

谷川 浩司九段、羽生 善治九段、佐藤 康光九段、
森内 俊之九段

(同じ段位の場合は公式戦で先に昇段した人)

1位 竜王、名人 タイトル保持者(2020年度)
3位 王位 渡辺 明 名人、棋王、王将
4位 王座 豊島 将之 竜王、叡王
5位 棋聖 藤井 聡太 王位、棋聖
6位 叡王 永瀬 拓矢 王座
7位 王将
8位 棋聖

棋士番号1977年4月1日より始まった、四段になっ
た日の棋士と引退棋士に対して与えられる。

26番 大山 康晴	64番 加藤一二三
131番 谷川 浩司	175番 羽生 善治
182番 佐藤 康光	183番 森内 俊之
222番 木村 一基	235番 渡辺 明
264番 豊島 将之	276番 永瀬 拓矢
307番 藤井 聡太	

(渡辺対豊島戦では渡辺が上位、永瀬対藤井戦では二冠
の藤井が上位となるが、永世称号者が対戦相手の場合伝
統と格式が重んじられるため複雑になる。師匠杉本昌隆
八段との対戦では藤井二冠が悩んではいけないと師匠が
先に入室して荷物を置いたため藤井二冠は「お気使い有
難う御座います」と頭を下げ上座に座って勝利した。当
時師匠の意気な計らいが話題になった。)

「2021年度A級棋士10名」

渡辺 明 名人
豊島将之 竜王 広瀬章人 八段 佐藤康光 九段
佐藤天彦 九段 羽生善治 九段 糸谷哲郎 八段
菅井竜也 八段 永瀬拓矢 王座 山崎隆之 八段
(総当たり戦、A級1位のみが渡辺名人に挑戦出来る)

「2021年度B1級棋士13名」

(タイトル戦は、予選、本選、決勝と長期戦)
稲場 陽 八段 三浦 弘行 九段 本村 一基 九段
郷田 真隆 九段 近藤 誠也 七段 久保 利明 九段
千田翔太郎七段 屋敷 伸之 九段 松尾 歩 八段
阿久津主税八段 藤井 聡太 二冠 佐々木勇気 七段
横山 泰明 七段

藤井聡太二冠(18)＝王位・棋聖＝は3月10日、
大阪市の関西将棋会館で指された第79期順位戦B級
2組最終11回戦で中村太地七段(32)を127手で破
り、10勝0敗でフィニッシュした。

昇級は10回戦終了時に決めていたが、これで順位
戦での連勝を21まで伸ばし、「鬼のすみか」とも呼ば
れるB級1組参戦へ向け弾みをつけた。